



第28回例会報告 *通算例会回数4212回目* (4月3日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

【 出 席 報 告 】

・ 会員数 48名 ・ 出席数 26名 ・ 欠席数 22名
・ 当日出席率 54.34% ・ 前々回修正出席率 100.00%
<欠席会員>阿部、相原、平田、廣川、菅、木村(敏)、木村(雅)、吉良、小堀、近藤、向井、宮道、大澤、岡本、志尾、坂本
辰巳、埋見、八木(正)、八木(伸)、米北
〔免除会員〕檜垣(巧)
<3/13 欠席補填>(3/3 今治北)阿部、原、平田、廣川、板脇、菅、木村(敏)、木村(雅)、小堀、宮道、大澤、坂本、辰巳、埋見、八木(正)、八木(伸)

◇幹事報告・例会終了後、大会議室にて4月定例理事会を開催いたしました。

・4月のロータリーレートは、1ドル150円です。

★ 清掃奉仕・早朝例会のご案内 <令和7年4月18日(金)午前中締切>★

日 時： 令和7年4月24日(木) 【 場所：今治城 】
間： 6時30分～ 清掃作業開始⇒7時00分～ 例会開始
※ パン・飲み物をご用意しております。雨天の場合は例会のみ開催。
※ ロータリーバッジの着用をお願い致します。

☆ 職場訪問例会のご案内【出欠締切5月16日(金)午前中】 ☆

・ 日 時： 2025年5月22日(木) 12:00～
・ 場 所： 日本食研 シェンブルン宮殿工場 [今治市クリエイティブヒルズ2番地1]

新会員卓話

◆井上博之会員 題目『リスクマネジメントの実践』:本日は保険会社らしいテーマとして「リスクマネジメント実践」ということで卓話させていただきます。リスクマネジメントは皆様既に実践されていると思うのですが、保険会社のリスクマネジメントについてのご提案ということで皆様の参考になればと思います。▼①リスクマネジメントの基礎知識:皆様ご存知かと思いますがまずはリスクマネジメントって何か?という基礎的なことからお話させていただこうと思います。リスクとは…リスクという言葉には、様々な分野の概念が入り込み、さまざまな意味で用いられていますが一般的には、『損失という不利益を被る可能性』『目標に対して不確かさが与える影響』を指します。企業の皆様におかれましては、このリスクについて、例えば事故が発生する前から、不測の事態による経営上のダメージを回避するあるいは、最小のコストでリスクを効果的に処理すればよいか…とこういうことを考えられていると思います。だからこそまずはご自身が抱える「リスク」について知ることで、それを管理したり、取り除いたりする方法について考えることが基本行動となり、それを知ることが重要になってきます。リスクマネジメントを実践する上で『①リスクの洗い出し…発生し得るリスクの具体像を把握する。⇒②リスクの算定…把握したリスクの影響度(≒会社経営における危険性)を評価する。⇒③対策優先リスクの決定…評価結果をふまえて、優先的に対処すべきリスクを決定する。⇒④リスク対策の実施・運用改善…選択しリスクを解消する対策を検討・実施する』というように企業ごとに自社のリスクの洗い出し、算定、そしてリスク対策を決定、実行します。さらにPDCAサイクルで継続的に改善に取り組み、組織の目的達成の早期化、最大化を図ります。▼リスクの洗い出しについて:企業を取り巻くリスクを洗い出す際に大切なのは漏れがないことです。企業は外部環境、内部環境(日常的なプロセス)に関するリスクを調査したうえで経営判断しているため、リスクを4つに区分したうえで、各項目のリスクを洗い出します。4つの区分とは①基幹プロセスリスク…購買⇒製造⇒販売等、直接部門の業務遂行プロセスから発生するリスク(例:製品欠陥リコール・販売代理店の倒産)②支援プロセスリスク…人事・総務・経理・情報システム等間接部門の業務遂行プロセスから発生するリスク(例:個人情報漏洩・資金繰り悪化・支払遅延)③外部環境リスク…会社の事業を取り巻く外的要因に起因して発生するリスク(例:地震・為替変動)④経営プロセスリスク…企業経営の計画・遂行に伴って発生するリスク(例:設備投資失敗・マーケティング戦略失敗)となり、業種・業態・規模・雇用形態・取引先・サプライチェーン・立地等あらゆる側面から損失が発生するリスクがないか、または機会損失となるリスクがないかを検討します。▼リスクの算定:リスクを洗い出した次には、企業に及ぼす損害や発生する可能性の算定方法を確認し、リスク項目ごとに現実性のある想定シナリオの中で最悪の事例を洗い出し、その上で損害規模および発生頻度をランク付けします。ランク付けには専門知識や経験が必要となるため、「業種別リスクマップ」等を活用します。リスクマップを作成することで経営へのインパクトなどがイメージしやすくなり、リスクの見える化をはかります。▼対策優先リスクの決定:洗い出し、

算定されたリスクは効率性の観点から、優先順位をつけて対応します。対策を優先するリスクの決定方法とは、リスク一覧やリスクマップを基に、企業が資金・時間・人員・非金銭的な要素（例：社会的評価）、現状対策の状況等を加味して、優先的に対策が必要なリスクを決定します。対策優先リスク決定後は、担当する部署や組織を明確にするとともに、権限と責任を付与します。対策実施と運用と改善ですが、リスクの担当部署、組織については個別のリスクに関するリスク対策を経営計画しそれを実践していくということが必要になります。その次に、リスク対策の実施状況を経営陣が当然、定期的に把握し、必要に応じて改善策についてそのリスクの担当部署に指示を出すということが必要になってきます。当然企業活動していると、様々な要因で状況が変わっていきますから一定期間経過した段階で、対策優先リスク及び全社のリスクを再度洗い出しあるいは算定評価を見直すということが随時必要になってきます。▼リスク対策の実施・運用改善：リスク対策の方法についてですが、リスクマネジメントには、基本的には4つの“リスク対応策（回避・低減・移転・保有）が存在します。大別すると、そもそものリスク自体を制御するリスク・コントロールと制御しきれないリスクを財務的に対処するリスクファイナンスに分かれ、組み合わせることで、企業はリスクを低減することができます。リスク・コントロールを強化すれば、事故による損失を減らすだけではなく、間接的なコスト（保険・デリバティブ）削減にもつながり、副次的には事業中断リスクやブランド価値棄損の予防にもつながります。▼②リスク・コントロールの基礎知識：リスク・コントロールの代表的な手法はロス・プリベンションとロス・リダクションに分類されます。ロス・プリベンション（Loss Prevention：損失）は「事故の発生頻度を少なくする」取り組みのことで、ロス・リダクション（Loss Reduction：損失軽減）は「事故の損害規模を小さくする」取り組みのことで、業種を問わない共通リスクのリスク・コントロールのポイントをまとめてみると…①企業は建物、設備等の資産があるため、自然災害リスク（地震・津波・台風・水害）や火災・爆発リスクがあり、これらにはロス・リダクション（BCP・サーベイ等）が有効です。②サイバー攻撃は発生頻度、損害規模がともに高い、企業共通のリスクのため、ロス・プリベンション、ロス・リダクションの両面での備えが有効です。▼業種を問わない共通リスクのシナリオやお客さまの取組事例として例えば…サイバー攻撃⇒シナリオ：サイバー攻撃により顧客および自社の機密情報が漏えいし、顧客や社会から信用を失った。⇒企業の取組事例：各種防衛策の実施・従業員教育の実施等があげられます。私たちは外部の委託支援サービスとしてセキュリティコンサルティング・脆弱性診断・サイバー攻撃対応訓練・ペネトレーションテスト等の対策を提案させていただいてます。▼ロス・リダクション機能が付帯された保険：損害保険の付帯サービスにはリスクコントロール（ロス・リダクション）に役立つ機能があります。代表的な例として、緊急時サポート総合サービス（通称：緊サポ）（有事に企業が必要とする各種の緊急対応機能を提供する保険付帯サービス）があります。リスク社がコーディネーター役となり、各専門支援業者と連携し、ロス・リダクション（適切な初動対応による早期収束・信頼回復・損害拡大防止など）に貢献することで、事業中断（BI【Business Interruption】）リスクの低減に寄与します。▼その道のプロフェッショナルと有事対応体制を構築し、リスク社がサポート機能会社と平時に守秘義務契約を結んでいるため、リコールの疑い、恐れがある段階でも各社への事前相談が可能となっており、フードリコールの事故を例に、緊サポを利用した場合と、有事における一般的な企業対応（自社で内製化して対応）の場合を比較…例えばコールセンター支援をあげます。一般的な企業の対応ケースでは①一般的なコールセンター会社は、業務委託時に委託企業の与信審査を行うため、立ち上げスタートが遅くなる。②「対応マニュアル・FAQの整備」「対応スキームの構築」「緊急時フローの確立」「受付システムの構築」「什器・PC等の手配」「業務仕様ブースの確保」など、正式委託後に体制を整えることにより、通常、コールセンターを開通させるまで1週間ほどかかる。これが緊サポサービスを利用すると①最短2営業日後から稼働可能。②電話1本で、回収対象品を自宅などに受取訪問。③契約者がフリーダイヤルブースを申し込む必要がなく提携会社が必要分を事前確保。最繁期コールオペレーション終了後は、提携会社から当該フリーダイヤル番号を引き継ぎ継続使用可能になる。④プロのオペレーターが対応するため、誤回収を極力排除。⑤回収状況について、一定期間ごと、または業務終了後に、コール件数レポート。と対応が円滑になります。▼実際のサービスについてご説明しましたが、保険会社はこういった事故対策について、いわゆるノウハウを持っておりまして、ぜひそういったサービスを各企業様のリスクマネジメントに取り入れていただくということも一つ考えていただけたらと思います。ご清聴ありがとうございました。

次回例会(4月10日)

【 地区研修・協議会報告 】

- < 会員誕生日祝 > 木村 雅彦氏 (4/15)
- < 配偶者誕生日祝 > 平田 勝豪氏 (4/12)
- < 結婚記念日祝 > 檜垣 巧氏 (4/11)

〔 笹 〕